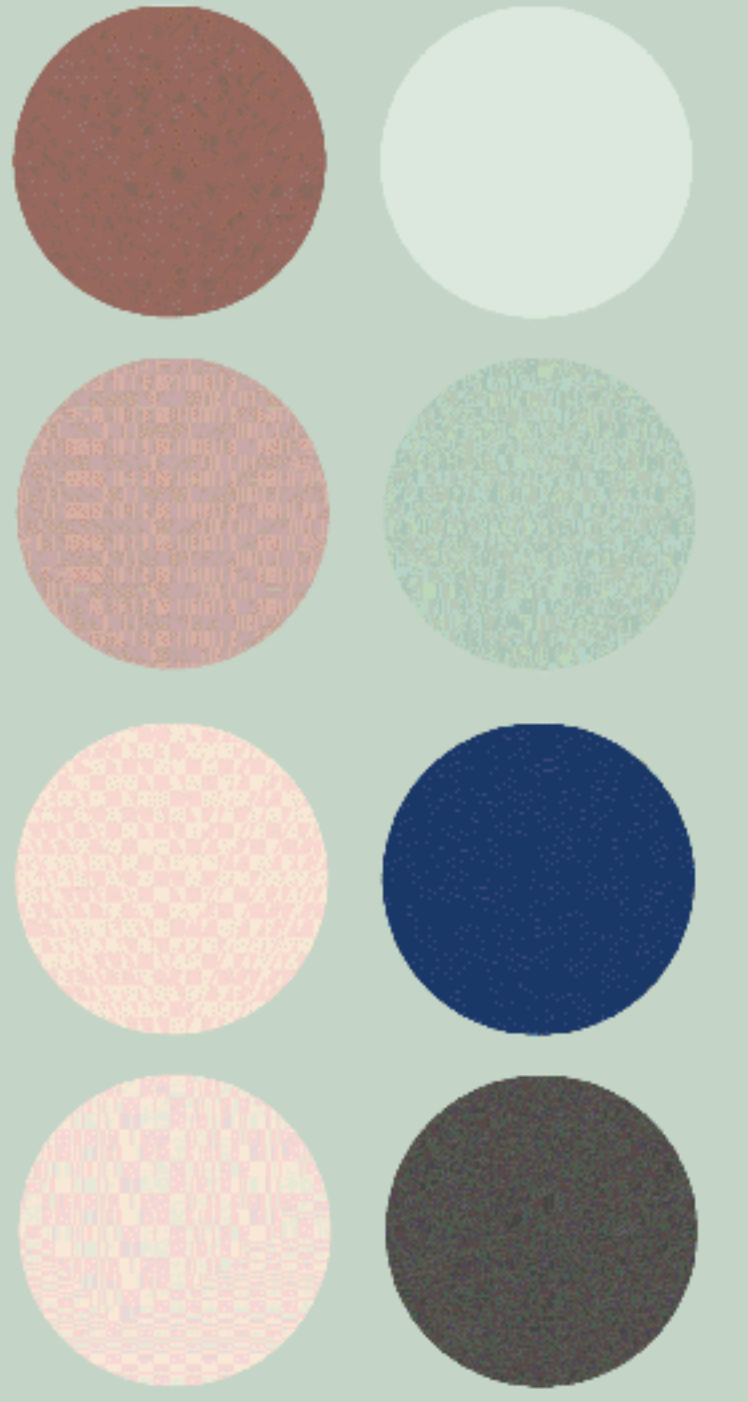
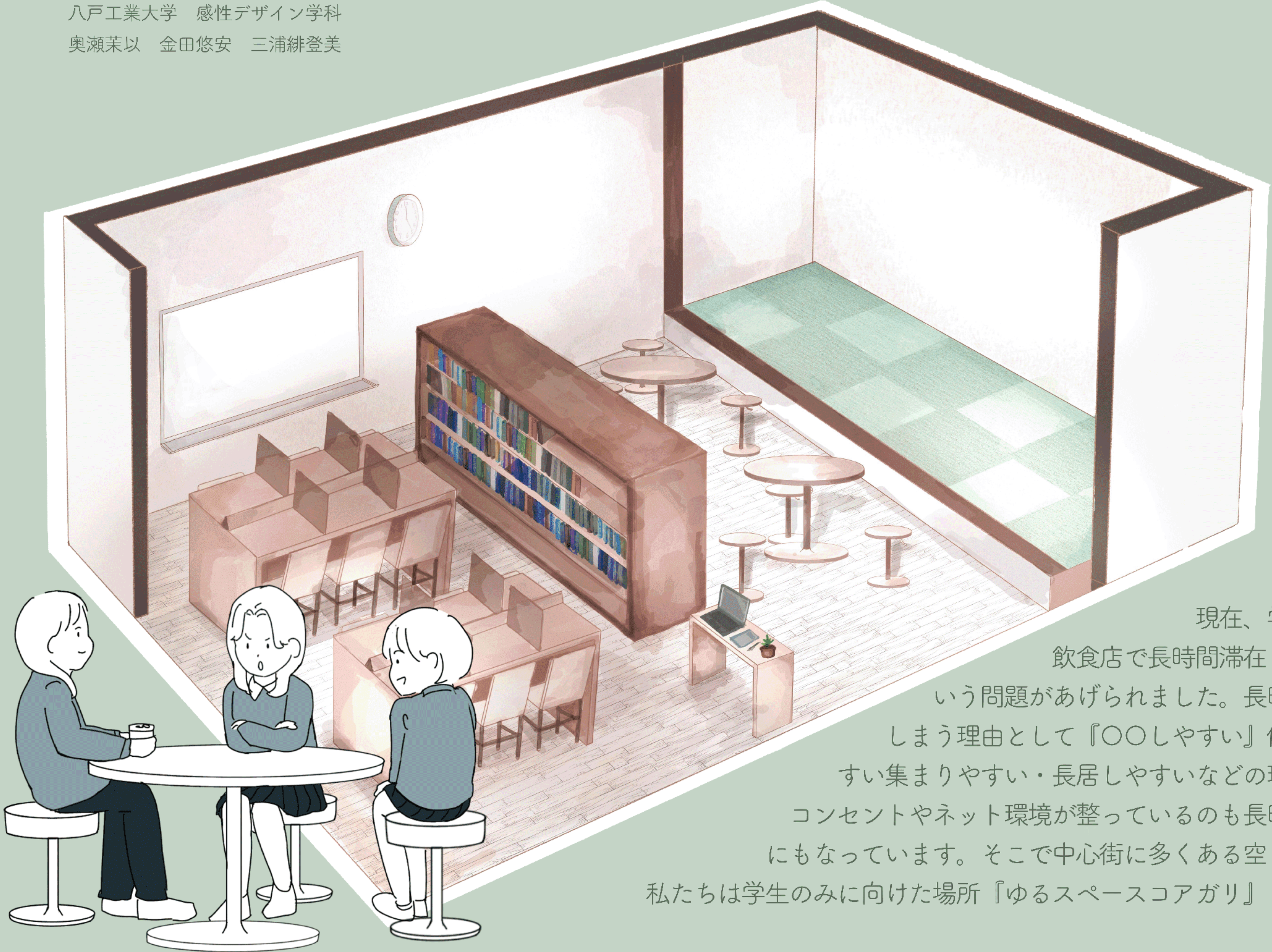


ゆるスペース コアガリ Yuru space Koagari

八戸工業大学 感性デザイン学科
奥瀬茉以 金田悠安 三浦緋登美



現在、学生が中心街の飲食店で長時間滞在をしてしまうという問題があげられました。長時間滞在をしてしまう理由として『〇〇しやすい』例えば勉強しやすい集まりやすい・長居しやすいなどの理由が考えられコンセントやネット環境が整っているのも長時間滞在の理由にもなっています。そこで中心街に多くある空き家を活用し、私たちは学生のみに向けた場所『ゆるスペースコアガリ』を提案します。

ゆるスペース

周りに干渉されず
制限がゆるい場所

コアガリ

家のような温かさ
落ち着き感のある場所

ビジュアルイメージ

フロアには小上がりがあって、本棚の横にはひとりひとりが使用できるデスクとイスがあります。また、学生が自分たちで自由に使えるドリンクスペースもあります。ホワイトボードは学生同士で教え合う際にピッタリ！デスクとイスは動かせるため、季節のイベント等行うことも可能です。



私たちが目指す3つの自

自分たちでルールを創ったり、どれくらい節電節水ができるかを話し合うことで、どこまで自由なのかを決め、それぞれの自律を目指します。またコアガリというアットホームな場は、学年や学校の違う生徒たちの輪と繋がりを強くさせ、八戸市内の学生の未来的な循環にも繋がります。

学生のコミュニティができることは、自分だけでなくお互いを愛していくことができるはずです。

